

(熊本県阿蘇市)

(旧観光施設を活用した地域活性化拠点整備)

【テ - マ】 持続可能なインフラマネジメントの実現 / **スマートコンセッションの推進** / グリーン社会の実現 / その他 ()【対象施設】道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / **遊休施設** / その他 ()【事業方式】**コンセッション** / 他のPFI / 包括的民間委託 / その他 ()

民間の創意工夫を最大限に生かせるPPP/PFI等の各手法により、旧「阿蘇いこいの村」と旧「ひのくに会館」の建物と敷地を活用し、地域住民や国内外からの多くの来訪者が集い、エリアの価値向上に繋がる地域の拠点を創設し、経済波及効果等の地域活性化を図りたい。

①解決したい課題

国内外から年間600万人が訪れる九州を代表する観光地において、第三セクター等での経営事情等により閉鎖し、長年そのままの状態になっている旧観光施設が、温泉街や景勝地に所在し、景観や全体イメージ等を阻害している。

【本市の人口・面積・立地】

人口：約24,000人、面積：376km²、立地：熊本県北東部

【対象施設】

①旧「阿蘇いこいの村」※別表参照 ②旧「ひのくに会館」※別表参照

【課題に関する取組状況】

令和8年1月から、当該施設の関係部署を参考の庁内会議において、今後の具体的な利活用の方向性等を協議中。



旧ひのくに会館から望む阿蘇五岳

②課題解決の方向性等

- 旧「阿蘇いこいの村」については、広大な敷地(約17ha)を有し、活用のジャンルは多岐に渡ると思料。また、旧「ひのくに会館」については、阿蘇を代表する温泉街に位置し、また、敷地内に温泉源を有することもあり、温泉を活用して各種機能を整備することを想定。しかしながら、市民ニーズや事業者の参画意向も確認しながら整備する機能を検討し、目的達成に向けてより有効な機能があれば採用していきたい。
- 建物や土地、敷地内の温泉源を活用し、最小限の改修で、新たな機能を整備したい。
- 周辺の観光スポット等との周遊効果の創出にも期待したい。
- 既存施設を活用した機能や運営手法、施設改修の方法等について、民間事業者の幅広い知見を活かしたアイデアを求める。



旧ひのくに会館



旧阿蘇いこいの村

③課題解決のイメージ・効果

【自治体】広大な敷地と温泉源を有する遊休公共施設を有効に活用して、投入コストを抑えつつ地域課題を解決したい。

【地域住民等】地域住民や国内外からの多くの来訪者が集う地域の拠点を整備することにより、経済波及効果等の地域活性化を図りたい。

【地域企業】地域企業に参画いただくことにより、雇用の創出と地域経済の活性化に繋げたい。

その他

- 旧「阿蘇いこいの村」の広大な敷地は、運営時はキャンプやキッズサッカー、クロスカントリー、グラウンドゴルフ等の多岐にわたって利用され、また、平成16年は、熊本県民体育祭のグラウンドゴルフ会場になるなど、広大な芝生が広がる野外広場は、維持管理の中で当時のまま状態を保持している。
- 旧「阿蘇いこいの村」は阿蘇五岳の麓（坊中エリア）に位置し、旧「ひのくに会館」は内牧温泉（内牧エリア）に位置する。この2つのエリアと阿蘇神社（宮地エリア）を結ぶ阿蘇トライアングルラインの周遊を創出し、阿蘇エリア全体の地域活性化につながる活用が図れることが望ましい。

(熊本県阿蘇市)

(旧観光施設を活用した地域活性化拠点整備)

【テ－マ】持続可能なインフラマネジメントの実現 / **スマートコンセッションの推進** / グリーン社会の実現 / その他（ ）【対象施設】道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / **遊休施設** / その他（ ）【事業方式】**コンセッション** / 他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

民間の創意工夫を最大限に生かせるPPP/PFI等の各手法により、旧「阿蘇いこいの村」と旧「ひのくに会館」の建物と敷地を活用し、地域住民や国内外からの多くの来訪者が集い、エリアの価値向上に繋がる地域の拠点を創設し、経済波及効果等の地域活性化を図りたい。

その他

対象施設概要

施設名	旧阿蘇いこいの村	旧ひのくに会館
所在地	熊本県阿蘇市蔵原字下大久保1420 ほか11筆	熊本県阿蘇市内牧字砂原554 ほか3筆
財産区分	行政財産	行政財産
設置根拠	－	－
土地	用途地域	非線引き都市計画区域（用途地域指定なし）
	建ぺい率	70%
	容積率	200%
	敷地面積	168,343.8m ²
建物	棟数	14棟
	延床面積	延6,803.59m ²
	建築年度	1984年（昭和59年）
	経過年数	42年
	階層	地下2階、地上3階
	構造	RC造
	写真	 